

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山県新宮市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	熊野文化活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>新宮市総合計画では、「文化財と文化資産の保全・活用」することによって地域の活性化を図り、「元気が出るまち」の実現を目指している。</p> <p>新宮地域の「伝統文化」「文化財」は当熊野地方の豊かな自然や歴史に生まれ、今日の私たちに伝えられたかけがえのないものである。</p> <p>当市には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめ数多くの国宝、国指定文化財等の文化資産が存在する。また、地域の伝統文化の継承を通し、人づくりを行っている。</p> <p>こうした中、これらの文化遺産や伝統文化を通じて、官民一体となった協力体制のもと、以下の取り組みを通じて、「ひとづくり」や「まちづくり」など、地域活性化を講ずる施策を実施する。</p>			
6 実施体制			
<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、新宮市教育委員会文化振興課が全体計画の企画、調整、事業の指導を行う。 補助事業の実施については、次の団体(構成団体)が実施する。 実施主体：新宮市伝統文化継承事業実行委員会(委員長 小野俊二) 構成団体(新宮市文化協会、熊野速玉大社祭事保存会、新宮市文化財保護審議会、新宮市教育委員会) 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 21,986 千円	平成29年度申請額： 1,151 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果(定性的な効果を記載)			
<p>本計画に基づく事業の実施により、市民の文化遺産や伝統文化に対する意識が向上する。その結果、地域の文化資産の保存と次世代への継承に繋がり、地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、熊野速玉大社の祭礼行事をはじめ、関連文化財を含めた詳細な映像記録により、次世代への確実な継承が可能となる。</p>			
10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)			
事業概要：	映像記録DVDを社務所や宝物館のスペースにて上映、常時閲覧可能とし、文化財保存や調査研究等、さまざまな用途に活用する。		
事業概要：	映像素材等を基に、ホームページの充実など、文化財の情報発信、普及・啓発事業に積極的に利用する。 また、新宮市観光協会、熊野三山協議会等が取り組む事業とも協業し、当市を訪れる参詣者・観光客の普及・啓発や「世界遺産ツアー」や「熊野体験事業」など新宮市外や和歌山県外への観光PRにも積極的に活用する。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	和歌山県新宮市教育委員会文化振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	熊野速玉大社への来場者数	関連事業:	新宮市の世界遺産を中心とした観光映像制作事業		
目標値 1 :	平成 23 年度	518,800 人	⇒	平成 30 年度	600,000 人
設定根拠 1 :	紀伊半島大水害以降 (平成24年度~27年度) の平均上昇率 (3%) の2倍 (6%)				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	新宮市の世界遺産を中心とした観光映像制作事業	実施団体：	新宮市伝統文化継承事業実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	新宮市の世界遺産を中心に文化財や郷土の特徴を映像記録DVDとして制作する。映像にまとめる事で、観光客や地域の学生等の地域への関心、理解の向上に供することが出来る。					
評価指標区分：	・制作映像の上映会等への貸し出し（又は利用）回数等			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	歴史民俗資料館における観光客、学生等の映像視聴者数。 （過去3年の資料館内設置の映像資料の視聴者数の平均人数を目標値に設定。）					
目標値：	平成 29 年度	0 人	⇒	平成 30 年度	300 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	人	人	人	人	人	人